

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	子育て支援総合センター運営事務事業（つどいの広場）	担当課・係名	子育て支援課 子育て支援係
総合計画実施計画事業 （認定番号・事業名）	—	事業番号	7
行革大綱実施計画事業 （細目コード・事業名）	—	事業開始年度	平成22年度

## 2. 事業の概要

目的 （何のために）	子育て支援総合センターは、子育ての拠点として、子育てに関する相談、情報提供を行うと共に、子育て中の親子及び地域の交流の場を提供することにより、地域の子育て家族に対する支援を行うことを目的とする。 東部つどいの広場についても、同様の支援を行う。				
対象 （誰を・何を）	就学前児童及びその保護者（つどいの広場） 18歳未満の児童及び保護者（育児相談） 子育てサークル、子育てボランティア等				
内容	子育て親子の交流の場の提供及び交流の促進に関すること 子育てに関する相談及び情報提供に関すること 子育てサークル、子育てボランティア等の育成及び支援に関すること				
根拠法令・条例等	大磯町横溝千鶴子記念子育て支援総合センター条例 大磯町横溝千鶴子記念子育て支援総合センター条例施行規則				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 （決算）	平成24年度 （決算見込）	平成25年度 （予算）	
事業費	直接事業費 (a)	千円	3,735	4,111	4,744
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			2,372
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	3,735	4,111	2,372
	職員人数（概算職員数）	人			0.9
	人件費計 (b)	千円			5,515
総事業費 (a)+(b)	千円	3,735	4,111	10,259	
事業費内訳 H 25 年度	共済費71千円、賃金4,269千円、報償費85千円、需用費101千円、役務費96千円、使用料及び賃借料72千円、備品購入費40千円				

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 （指標名）		単位	平成23年度 （実績値）	平成24年度 （実績値）	平成25年度 （見込み又は計画値）
対象指標 （対象者数等）	① 開所日数（延）	日	294	293	397
	②				
活動指標 （活動量）	① 利用者数	人	8,260	9,930	11,000
	② 相談件数	件	669	588	850
成果指標 （達成度等）	① 利用者一人あたり	円	2	1	2
	② 相談者一人あたり	円	19	24	30

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	子育て支援総合センターは町の子育て支援の拠点であるため、町主体が妥当である。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	つどいの広場の他にも、多数の子育て支援事業を併設しており、妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	利用者が増加し、今年度からは東部つどいの広場も開設したことで、利用者の地域格差を軽減した。子育てアドバイザーを配置し、育児軽減の一翼を担っている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	町の臨時職員の賃金で有資格者が雇えており、効果的である。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	子育てアドバイザーには、保育士などの有資格者が多く、臨時職員として雇用し、コスト軽減に努めた。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> つどいの広場事業と同様の事業が町内にはあるので、精査していくことが必要である。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	つどいの広場の運営について、外部委託を検討する。
② 平成26年度に着手する事項	つどいの広場事業について、平成27年度から始まる子ども・子育て新制度の中でどのように展開させていくか検討する。
③ その他（課題、調整事項等）	生涯学習館や高麗・東町の会館を利用して、つどいの広場事業を実施しているが、将来的に東部地区にも子育て支援センターが必要となる。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

つどいの広場事業と同様の事業である子育てパンダ等（スポーツ健康課）を精査し、東部つどいの広場として、保健センターにて週1回実施し、拡充を図る。平成26年度のつどいの広場事業は、西部として子育て支援総合センターで週6日、東部として週4日（生涯学習館・保健センター・地区会館）で実施していく。子育てアドバイザー2名の配置のほか、保健師育児相談、心理士相談を行い、相談事業の充実を図っていく。
---